

引当金 ディスカッション・ポイント（確認事項）

1. 引当金専門委員会の検討状況

引当金論点整理に対するコメント対応を議題として、平成 21 年 12 月 14 日に引当金専門委員会が開催された。引当金論点整理に寄せられた主なコメントは以下のようなものである。

①総論

- ・コンバージェンスを進める方向性に賛成
- ・連結ベースでの適用を求める

②定義と範囲

- ・負債性引当金のみを検討対象とすることに賛成

③認識要件

- ・有給休暇引当金について（計上要件の明確化を求める、計上に反対等）
- ・特別法上の引当金又は準備金について（慎重な検討を求める等）
- ・蓋然性要件の削除に反対

④測定

- ・現時点決済概念より究極決済概念が望ましい
- ・重要である場合は現在価値への割引をするべき
- ・信用リスクを折り込むべきでない
- ・最頻値方式を削除し、期待値方式に一本化することに反対

⑤開示

- ・国際的な会計基準を踏まえた開示の拡充を検討すべき

2. 今後の進め方

IASB 負債プロジェクトは、従来、2009 年中に最終基準化の予定であったが、2010 年 1 月に測定に関する再公開草案を公表している（4 月 12 日コメント期限）。また、2010 年 2 月に最終基準の作業ドラフトを公表し、2010 年第 3 四半期に最終基準を公表する見込みとされている。

ASBJ のプロジェクト計画表では、2010 年第 3 四半期に公開草案を公表する見込みとしているが、IASB の再公開草案へのコメント対応を行うほか、IASB の動向を見極めつつ公開草案の公表に向けた検討に進むこととしたい。

以 上

引当金プロジェクトの進め方（イメージ）

	ASBJ、専門委員会	IASBの動向（見込み）	ASBJ 計画表
2009年12月	論点整理コメント対応		
2010年1月	IASB再公開へのコメント作成	測定の再公開草案	
2月		最終基準作業ドラフト	
3月	公開草案公表に向けた検討（※）		
4月		EDコメント期限	
5月			
6月			
7月			
8月		最終基準（3Q）	公開草案（3Q）
9月			
10月			
11月			
12月			
2011年			最終基準

（※）IASBの動向を見極めつつ検討を進める。